

家庭用品規制法の基準クリア

環境配慮型クレオソート注入材に全面移行

九州木材工業

九州木材工業（福岡県筑後市、角博社長）は、家庭用品規制法の基準をクリアした環境配慮型クレオソート注入処理木材（加圧注入）の製造販売を開始した。平成16年の同法施行後も業務用では従来のクレオソート利用が認められているが、同社ではコンプライアンス、環境への影響などの観点から全面切り替えを実施したもの。既に九州の鉄道用枕木では取引先が採用を決めている。

クレオソートは元々非常に高いだけに、家

々、油性で保存効果が

家庭用品規制法をクリア

する。京都などをはじめ公共

建

築物の土木資材等で

も、クレオソートに関

しては家庭用品規制法

と同様の基準を満たし

た資材の納入が仕様上

定められるなどの事例

が開始された。

そこで同社では、保

存処理木材メーカーと

して、クレオソートで

も環境配慮型に全面移

行することを決定。従

来のクレオソートは前

出3物質で2000ppm

程度となるため、

再度の普及用で

なかつたが、昨今は東

品などでも

従来どおりのものが利

用できることに変わり

が

見込まれ

なかつたが、昨今は東

品などでも

従来どおりのものが利

用できることに変わり

が

見込まれ

なかつたが、昨今は東

品などでも

従来どおりのものが利

用できることに変わり

が

見込まれ

なかつたが、昨今は東

品などでも

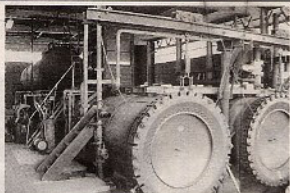
従来どおりのものが利

用できることに変わり

が

見込まれ

なかつたが、昨今は東



洗浄、配管取り替えを終えたクレオソート加圧注入釜